

室神山

学校便り
平成31年3月22日号
江津市立江津東小学校長 安食 徹

小川の水もゆるみ、野に山に春の色が濃くなってまいりました。まさに春が動き始めたという感じです。

本日をもって平成30年度の全教育活動を終えることとなります。保護者並びに地域の皆様方には、この一年間、本校教育活動に対しまして、温かいご支援とご協力を賜りましたこと、誠にありがとうございました。衷心よりお礼申し上げます。来年度におきましても変わりませず、ご支援ご協力を賜りますよう、よろしく願います。

卒業生 巣立つ

3月16日(土)、卒業証書授与式を挙げてまいりました。多くの来賓の皆様方、卒業生保護者の皆様方のご臨席をいただき、誠にありがとうございました。多くの方々の見守りの中、6年間の全課程を終えた卒業生が、立派に本校を巣立っていきました。当日の校長式辞の一部を以下に紹介します。

～前略～玉江大会や小中音楽会、ミニバス交歓会などの行事でも、最後まで全力を出し切る粘り強さ、本番に力を発揮できる集中力を見せてくれました。サンピコ江津を会場に行ったJ P Xの起業体験プログラムでは、沢山のお客様に足を運んでもらうことができました。何事においても挑戦し、協力して課題を解決していくことができる6年生でした。本当によく頑張ってくれました。在校生がこの一年間安心して、しっかり力を伸ばすことができたのは、あなたたちのお陰です。本当にありがとうございました。これからいかなることがあろうとも力強く人生を歩んで行くことでしょう。

人生では、まさかと思う出来事も起きます。一生懸命取り組んでも、良い結果が出ないというようなこともあるでしょう。けれども、そんな経験も宝物に変えられるはずです。「失敗のない人生は失敗である」という言葉があります。私は、この言葉を聞くと勇気が湧いてきます。誰でも失敗から多くのことを学ぶことができるのだと思います。過去の事実は変えられませんが、意味は変えられます。たとえ失敗に思えても、そこから多くの学びを得て、成長できたとき、その事実の意味が宝物へと変わるのだと思います。成功しかしたことの無い人生はあり得ないし、そんな人生は失敗なのです。みなさんは歩くことができますね。それは赤ちゃんの時、沢山失敗をして、沢山転んで、歩けるようになったのです。失敗をしないコツというの聞いたことがあります。「やりたいことを何もしない」というのがそのコツです。そのように生きたとして、確かに失敗はしないかもしれませんが、それが成功した人生だと呼べるのでしょうか。歩きたいけど、転ぶのが嫌でチャレンジしないという赤ちゃんは歩けるようになりません。やはり夢や希望を持って、失敗や成功を重ねながら、いろんなことにチャレンジしていく人生がいいのではないのでしょうか。事実、皆さんは、歩けるようになっています。すでに沢山の失敗を乗り越えてきたのです。中学校に行っても、失敗を恐れず、夢や希望を持って、いろいろなことにチャレンジしていきましょう。

そして、思い出してください。赤ちゃんの頃からずっと見守ってくれた家族の顔を。注ぎ込まれた沢山の愛情や優しさが、皆さんのチャレンジや成長の原動力になってきたのです。その後も、家族に加え、地域の方々、先生方など、より多くの人々に見守られてきたのです。どうかそのことに気づき、改めて感謝の思いを強くしてほしいと思います。

また、担任として、将来のことまで見通しながら、誠実に向き合ってください。福間雅基先生を始め、これまでに会ってきた多くの先生方。実際に会うことは少なくとも、地域の方々、教育委員会の方々、給食センターの方々など、たくさんの方々が、皆さんのために一生懸命になってくださっていました。そういう人たちに、皆さんは囲まれているのです。今、このときも、これだけ多くの方々

が集まって祝福してくださっています。皆さんは温かい想いをたくさん受けています。このことを肝に銘じ、日々出会う人に感謝と敬意を持って、人生を歩んでいってください。

そして当たり前の中にも必ず感謝の種はあります。一見嫌なことの中にもさえ感謝の種はあります。平凡な日常、不平不満さえもあなたの心の持ち方一つで感謝に変えられます。感謝は自分を幸福へと導いてくれます。感謝は人生最強の道標です。これをもっている人は、道を見失うことはありません。卒業という大事な節目を感謝によって、より意義深いものにしてください。家族や支えてくださる多くの方々への感謝の念を携えて、これからの中学校生活を充実させてください。

人生で起こることを、当たり前ととるか有り難いととるか、感謝するかしらないかは自分で選んでいるのです。世界をどう見るかは、自分次第です。それぐらい自分はパワフルなのです。どうか自分の力を信じ、感謝をもって人生を切り拓いていってください。

みんな、6年間、いろんな時にたくさん応援されてきましたね。家でも、学校でも、地域でも。「頑張れ」って。これからもきっと、「頑張れ」と応援され続けることでしょうか。どうか、信じてください。人はいいものです。時には「頑張れ」と応援されて苦しく感じる時もあると思います。でも、皮肉や意地悪で「頑張れ」という人に、私は会ったことがありません。「頑張れ」という言葉は、どう励ましていいかわからない時に、最後に人の光の部分から出てくる言葉だと信じています。「人はいいものだ」と信じる気持ち、その光の部分を感じ取れるように感覚を研ぎ澄ましていくことが、人権感覚を磨くということだと私は思います。前にも話しましたが、「頑張れ」を願いが生まれる（願生れ）と書くことができます。これは「あきらめるな」という意味です。顔が晴れる（顔晴れ）とも書くことができます。これは「笑え、笑おう」という意味です。どうとるかは、そのときの状態に合わせて自分で決めればよいと思います。そうすれば、その言葉をかけてくれた人に感謝できるはずですよ。どうか、自分の人生の主人公としての力を信じ、「人生の被害者にはならないぞ」という覚悟と笑顔をもって、がんばってください。～後略～

感謝の会

3月8日（金）に、子どもたちの安全のため、通学の見守り活動をしてくださっている方々を招いて感謝の会を開き、今年度一年間お世話になった感謝の気持ちを伝えました。日常、つつい当たり前と捉えがちなことが、実は有り難いことなのだと気づく力、それが感謝する力であると思います。見方を変える（リフレーミング）力でもあり、それは困難を乗り越える力にもなります。新しい視点で日常を振り返ってみる良い機会になったと思います。どうか今後とも、本校の教育活動に対して、ご理解、ご協力を賜りますようよろしくお願いいたします。



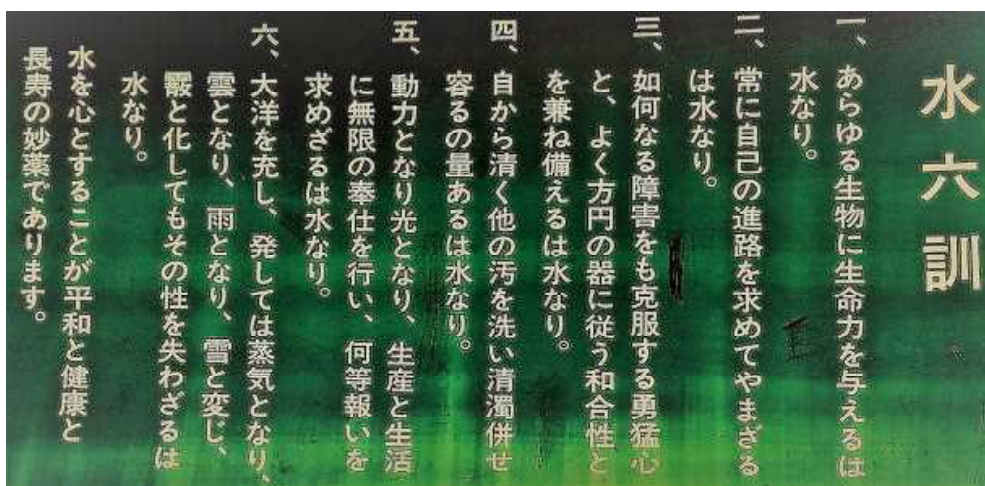
サケの放流会（4年生）

3月9日（土）の午後2時から、快晴で温かい日差しが降り注ぐ絶好のコンディションの下、今年で13回目となるサケの放流会が開催されました。本校からは4年生中心に児童が参加していました。4年生は『都治川アピール』を完全に暗記し、大きな声で唱和しました。晴天の下、一生懸命育てたサケの稚魚を放流し



ました。4年後に大きくなって、戻ってきてくれることを願っています。放流の後、おいしいぜんざいをご馳走になりました。いい思い出がまた一つできたと思います。

また、浜田市三隅B&G海洋センターで、『水六訓』という石碑を見つけました。読めば読むほど納得できる感じがし、水を大切にしなければならぬと思いません。都治川の水质浄化を願われ続けてきたサケの放流会活動とも通じるものがあると思いき、紹介させていただきます。



バイキング給食

3月12日(火)にバイキング給食がありました。6年生は、自分の選んだメニューをおいしそうに食べていました。沢山のごちそうがありましたが、6年生はしっかり食べました。会話しながら、会食も楽しんでいました。きっといい思い出になったことだろうと思います。



読み聞かせ、お世話になりました

今年度も1年間にわたり、月1回の読み聞かせをしていただき、ありがとうございました。今年度は、県の図書館活用教育の指定を受けて、校内研究に取り組んできました。本を読むことは、子どもたちの成長にとって欠かすことができないものだと考えます。読み聞かせは、子どもたちが読書に親しみ、読書習慣を身につけるための貴重な機会になっていると思います。そのようなよい機会を作っていただいていますことに心より感謝申し上げます。



修了式に寄せて

3月16日(土)には無事卒業生を送り出し、本日22日には平成30年度の教育課程を全て修了することができました。来年度、

僕が生まれた時のこと【作詞・作曲 安達 充】

僕が生まれた時の ずっとずっと 前のこと
十月と十日の間 命を分け合いながら
月満ち 時至れば 痛みと苦しみの中

卒業生は中学校へと進学、在校生は進級となります。当たり前と言えども、有り難いと言えども有り難いことだと妙な感慨が湧いてきます。

来年度は5月から元号が変わって〇〇元年度となります。きっと大きな変化が待っているであろうと、ドキドキ、ワクワクしてきます。

子どもたちや職員に日頃言い続けていることがあります。『事実を変えられないが、意味は変えられる』ということです。ある出来事に感謝するのか、不平不満を言うのか、それは常に自分の見方、自分の責任における選択で決まってくるということです。このことを、様々な側面から訴え続けてきました。そうすることで、困難に出会うと折れがちな弱い私自身の心にも活が入るからです。この節目となる大切な時期をどうか、自分自身を一層成長させる方向へ役立てていってほしい

それすら 恐れないとは どんな想い なのだろう？
ひとたび 元気な声を 聴いたら すべて忘れて
「苦しめた 人を祝う」 他のどこに あるだろう？
その胸を 寝床として 膝の上で 遊んでは
あなたの やさしさだけが 僕と世界を つないでた
こんなに大きな愛に 守られた命だと 知れば
生きる その意味を 決して あきらめない…
僕が生まれた時に 本当にあった 物語
いつも言えぬ ことだけど 心こめて ありがとう
霜が降りる 冬の夜も 凍えるような 雪の日も
温もりを ゆずりながら 湿った処へ 臥すあなた
たとえば 時を選ばず 泣き出す僕と 汚れ物
それすら 厭わないとは どんな気持ち なのだろう？
苦きものは ついばんで 甘いものを 与えては
「自分よりも他人(ひと)へ」など 他のどこに あるだろう？
もしも僕の為にと 止むを得ぬ ことがあれば
たとえ命 捨てても いいとさえ 言ってくれた
こんなに大きな愛に 包まれた命だと 知れば
生きる その意味を どうか 伝えなくちゃ…
今まで生きてきたのは 皆あなたに 育まれ
顔を見ると 言えなくて だけどいつも ありがとう
どんなに 遠くの街で 僕が暮らしていたと しても
振り向けばいつも あなたのやさしさが
どんなに 大きくなっても 変わらないと言ってくれた
永遠に僕は あなたの子供だって
僕もやがて 年をとり 親となって ゆくだろう
こんな命の 重さ 次へと 伝えたいから
そしていつか この世へと 生まれてくる命へ
心から おめでとうと 一緒に 言えるように

と思います。今年度は心の在り方として『感謝・尊敬・寛容』を大切にしてきました。姿や形は違えど、みんな同じ人間同士です。4月は新しい出会いにあふれた時期です。来年度が「出会えて良かった」と思えるような出会いが重なり、一層お互いを大切にし、感謝し合い、尊敬し合い、寛容な心で赦し合える一年間になってほしいと思います。そして、充実した学校教育活動となるよう、江津東小学校職員一丸となって頑張っていきたいと思います。

上の『僕が生まれた時のこと』は、学習発表会において、4年生が歌で一部披露しましたが、全てを紹介させていただきます。『当たり前』と感じてきたことが、いかに『有り難い』ことであるかに気づかされます。このメッセージを素直に受け止める心があれば、自分の日常、身の回りのことから沢山の感謝の種を発見することができると思います。感謝して、より元気になって新年度を迎えられますように！

学校評価について

今年度の学校教育目標の達成状況を学校評価としてまとめました。学校のホームページに掲載しておりますので、ご覧ください。

人事異動のお知らせ

この度の人事異動で、都野 朋子教諭（5年間勤務）は江津市立川波小学校、森山 真梨子教諭（3年間勤務）は大田市立温泉津小学校、小林 菜美子教諭（3年間勤務）は大田市立池田小学校、山崎 智子養護教諭（4年間勤務）は大田市立温泉津小学校に転出いたします。大源 ゆかり非常勤講師（10年間勤務）は辞職いたします。これまで、大変お世話になりました。ありがとうございました。